

平成25年3月29日

新宿区長 殿

法人名 NPO 法人いきいき里の会
所在地 新宿区愛住町 19-13
(フリガナ) オガワラ エイジ
代表者氏名 副理事長 小河原 永次

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	独居高齢者孤独死予防事業
実施日時又は期間	イベント開催日時： 第17回 24.6.26、第18回 24.9.15、第19回 24.11.30、第20回 25.1.26、第21回 25.2.26 計5回 開催時間：13:00~17:00
対象者の範囲及び人数	新宿区在住の高齢者 参加人数：208名、その他会員
事業内容	高齢者の「とじこもりや孤立化」防止策として心の癒し（お笑いの会） の実施
具体的な活動状況	四谷地域センター（多目的ホール）において、年5回実施した。 参加者は、24.6.26：参加者 40名、その他会員 24.9.15：参加者 56名、その他会員 24.11.30：参加者 27名、その他会員 25.1.26：参加者 41名、その他会員 25.2.26：参加者 44名、その他会員
事業の成果	毎回会員を含めて70名の参加予定をたてて、新聞折り込み、ポスティングを実施した。リピーター（案内希望者）も100名を超えており、アンケートを徴し、計画に鋭意検討を加えた。近隣高齢者の方も会員に加わっていただき、イベントを盛り上げていただきました。イベント結果写真は4の活動の成果に添付しました。

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			261,608 円
	参加費・資料代等	イベント参加費 208 名 独居高齢者分@300×64 一般高齢者分@500×144		91,200 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		500,000 円
	計			852,808 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	24,000 円	四谷地域センター（多目的ホール）@4,800×5	
	宣伝費	103,667 円	チラシ・プログラム印刷代 5 回分 86,362 円 新聞折込料（朝日、読売）5 回分 17,305 円	
	リース費	円		
	消耗品費	21,861 円	イベント出席者用下足袋 378 円 抽選用連番荷札 8,530 円 郵送用封筒 11,483 円、景品ラッピング用品 1,470 円	
	謝礼	211,000 円	演芸出演料 第 17 回 24.6.26 : 6,000 円+30,000 円 第 18 回 24.9.15 : 25,000 円+10,000 円 第 19 回 24.11.30 : 30,000 円+20,000 円 第 20 回 25.1.26 : 50,000 円+9,000 円+10,000 円、 第 21 回 25.2.26 : 21,000 円	
	人件費	114,000 円	スタッフ会議出席手当@4,000×5×5=100,000 円 イベント開催日手当@4,000×5×5=100,000 円 ※86,000 円は超過分として対象外事業費に計上	
	材料費	円		
	交通費	48,790 円	スタッフ会議出席交通費 4 名分 4300×5=21,500 円 イベント準備出席交通費 4 名分 4020×5=20,100 円 イベント備品運送車両代 7,190 円	
	その他諸経費	48,960 円	チラシ・開催案内等郵送料 5 回分 48,560 円 コピー代 400 円	

助成対象事業費（小計）	572,278 円	
余 剰 金	118,482 円	
助成対象外事業費	162,048 円	イベント景品代 59,735 円 人件費超過分 86,000 円 出演者お茶代、打ち合わせ経費 16,313 円
事 業 総 額		852,808 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	22年6月から始めたイベントも25年2月には第21回となった。ご高齢者の「癒し」という目的は達成できました。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	地域独居高齢者とのつながりを深めることができ、また、新宿区や社会福祉協議会とのつながりを深められた効果がありました。今後、訪問活動との相乗効果を期待したいと思います。
費用対効果は適正であったか。	「新宿区 NPO 活動資金助成事業」をチラシに表示させていただき、イベントへの信頼ははかりしれません。さらに費用対効果を高めるように努力します。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	リピーターの拡大、訪問者の呼び込み、地域との交流など課題は多いですが、積極的に行っていきます。幸い、地域からの会員も増え、期待できます。
理解者や支援者が広がったか。	地域自治会の幹部との交流、近隣の高齢者の会員加入など、理解者や支援者が広がりつつあります。社会福祉協議会や NPO 協議会の行事には積極的に参加を心掛けています。第19回、第20回と四谷地区高齢者クラブ連合会長様に連続してご出席いただきました。
事務局の執行体制は十分だったか。	常勤者が不在のため、行政との連絡等、そごを生じているきらいがあり、注意を要します。連絡を密にしていきます。

<p>今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。</p>	<p>限度のある寄付により立ち上げたため、NPO 継続のための苦労は絶えません。事業の立ち上げ、寄付者の募集等、努力はしているが、なかなか困難を極めています。企業の寄付の協力や印刷宣伝等検討をしていますが、高齢者の方に誤解をいだけせない事業の展開を模索しています。</p>
<p>その他</p>	<p>昨年 7 月、理事長池辺道隆が亡くなり、定款により、副理事長小河原が代行を務めています。6 月の総会で新役員決定次第登記変更をいたします。</p>

4 活動の成果

* 事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
* 参加者の意見なども報告してください。

1. 第 17 回イベントの報告：理事懇談会の報告（写真なし）、
アンケートの報告
当会への意見：皆様方と同じ時間を過ごせることがなによりの健康感を味わえることです。
2. 第 18 回イベントの写真添付
3. 第 19 回イベントの写真添付、アンケートの報告
4. 第 20 回イベントの写真添付、
5. 第 21 回イベントの写真添付、アンケートの報告
当会への意見：お楽しみ抽選会に時間をかけすぎるので、もっとスムーズに願います。